

社協だより

ともに生きる

2020

1月号

No.099

02 年頭のごあいさつ 03 令和元年度幸田町社会福祉協議会会員入会報告 04 成年後見支援センターだより
05 地域包括支援センターだより 06 ボランティアだより、お知らせ 07 令和元年度幸田町社会福祉大会開催報告
08 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール入賞者紹介、ご寄付ありがとうございました

認知症理解促進映画上映会&講演会

妻の病

—— レビー小体型認知症 ——

一人の医師と、認知症の日々を生きる妻との
10年間に及ぶ“いのち”を巡る物語。

「生きなきゃ…
ふたりでよう頑張ったと思う。」
「うん、生きなきゃ。」

と き 令和2年3月15日(日)
午後1時30分～
ところ 幸田町民会館あじさいホール
内 容 ①映画上映
②ドキュメンタリー映画監督
伊勢真一監督による撮影秘話
ほか
定 員 150人 *先着順
申込み 2月12日(水)から幸田町地域
包括支援センターにて整理券を
配布。
問合せ 幸田町地域包括支援センター
電話62-7331・FAX62-7254

年頭のごあいさつ



幸田町社会福祉協議会
会長 神尾 義貴

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのこと心からお喜びを申し上げます。また、昨年中は、私たちが取り組んでおります各種の福祉事業におきまして、皆さまの格別のご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今、生活課題の複雑多様化など、福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。私たちはそれに対応すべく、「支え合い 共に生きる まちづくり」を基本理念とした「幸田町地域福祉活動計画」に沿って、福祉事業に取り組んでいるところです。事業の大枠としては、高齢者に関わる支援、生活困窮者に関わる支援、障がいのある人への支援の三つの部門です。事業の推進にあたり、各区をはじめ地域住民の皆さまやボランティア、企業の皆さま方のご支援、ご協力をいただいております。

六月に会長に就任して以後、いろいろな会議・催し物に参加し勉強させていただきました。その中の一つに、幸田福祉ボランティアまつりがありました。手話体験、高齢者疑似体験、点訳体験など経験する中で福祉に関わる活動への不勉強さに気づかされるとともに、幸田町にはボランティア団体が四十団体以上あることも知りました。その多さに驚くと同時に幸田町の明るい未来を感じました。「今の社会をもっと良くしたいと思う人が多ければ多いほど良い社会だ」と言われているからです。

今年も私たち社会福祉協議会職員は、誰もが安心して住みよい幸田町にすべく、皆さま方にとってさらに有益な福祉サービスの提供に励みたいと思います。

結びに、本年も皆さまにおかれましては幸多い年でありますように心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。



幸田町長 成瀬 敦

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をご家族お揃いで健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、昨年中は、町福祉政策各般にわたりまして、社会福祉協議会へ多大なるご支援とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、本町の高齢化率は21%であり、平均寿命は男性が81・5歳、女性が86・9歳で、全国や愛知県と比較すると、高齢化率は低く、平均寿命はほぼ同じで、要支援・要介護認定者の割合は、比較的低いため、元気な高齢者が多いのが、本町の特徴であると考えています。

しかしながら、本町も核家族化が進み、一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯の増加や孤立化、認知症高齢者の増加など、介護する家族の負担の増加は予想され、医療と介護の一体的な推進はより一層求められています。

団塊の世代が75歳を超える2025年、団塊のジュニアが65歳を超え、超高齢化社会になる2040年問題を課題とする中において、可能な限り住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らせるような地域福祉施策を展開していく上では、社会福祉協議会の役割は、更に重要なものになってくるものと考えています。現在、本町は社会福祉協議会と協力して、「幸田町成年後見制度利用促進基本計画」の策定に向けた取り組みを推進しています。引き続き、地域で助け合う仕組みづくりに努めてまいりたいと考えております。

結びに、本年が皆さま方にとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和元年度

幸田町社会福祉協議会会員入会報告

ご加入ありがとうございました

今年度も幸田町社会福祉協議会会員への入会をお願いしましたところ、多くの皆さんからご協力いただきました。ご入会された皆さん、また、会費の取りまとめにご協力くださいました区長さんに心からお礼申し上げます。皆さんからいただきました会費は、主に福祉への理解を深めていただくための啓発活動や、福祉団体やボランティアの活動支援などの地域福祉活動の推進などに使わせていただいております。

賛助会員

幸田町議会議員 15名
幸田町管理職 15名
幸田町社協役員・評議員 15名
(個人のお名前については、省略させていただきます)

特別会員ご芳名

(順不同・敬称略)

令和元年度の加入状況 (令和元年12月2日現在)			
会員の種類	会員数	一口	金額
一般会員 町民の皆さん	9,100世帯	300円	2,730,000円
賛助会員 個人・団体など	81名	1,000円	204,000円
特別会員 法人・事業所など	101事業所	3,000円	429,800円
合 計			3,363,800円

◆鈴木眼科医院
◆こん野ファミリークリニック
◆むらかみ整形外科
◆佐野胃腸科外科
◆牧原整形外科クリニック
◆西山みみ・はな・のどクリニック
◆幸田中央クリニック
◆平野歯科クリニック
◆野々村クリニック
◆関やまざきクリニック
◆京ヶ峰岡田病院
◆とみた小児科
◆鈴木内科
◆こうた皮フ科クリニック
◆三河クリニック
◆日高医院
◆ハピネス歯科こども歯科クリニック
◆さかさばら歯科
◆あいみ歯科
◆植田歯科医院
◆いちかわ歯科
◆ケアプランひなた幸田

◆デイルーム幸田
◆ライフデイサービス幸田店
◆(有)たいよう
◆デイサービスいな穂
◆特別養護老人ホームつつじヶ丘
◆(有)翔友会あり姫
◆デイサービス和ごころ菱池
◆デイサービス水仙
◆特別養護老人ホームまどかの郷
◆まどかの郷デイサービスセンター
◆鈴木接骨院のデイサービス幸田店
◆レッツ倶楽部幸田
◆ケアホーム穂の香
◆住宅型有料老人ホーム幸田の家
◆特別養護老人ホームメリーホーム幸田
◆訪問介護ステーションよいかん幸田
◆岡崎信用金庫幸田支店
◆あいち三河農協幸田支店
◆碧海信用金庫幸田支店
◆西尾信用金庫幸田支店
◆豊川信用金庫幸田支店
◆蒲郡信用金庫三ヶ根支店
◆(有)ホンダ自動車
◆愛知自動車(株)
◆(有)イケダオート
◆(株)富田モータース
◆杉浦モータース
◆(有)小野自動車
◆(有)愛幸自動車
◆伊与田モータース
◆三ヶ根自動車工業
◆(株)タナカ
◆村越建設(株)
◆幸田町シルバー人材センター
◆太田新聞店
◆幸文堂ドリームウェイ(株)
◆(株)石原組
◆(株)三ヶ根観光社本社営業所
◆トヨコンロジスティクス(株)
◆(有)本田屋商店
◆(株)ササノ合成
◆(株)エンヤ
◆花笠商事(株)
◆幸南工業(株)
◆小原建設(株)幸田営業所
◆三河舗装建設(株)
◆アス力(株)幸田工場
◆豊坂建材(株)
◆(有)カンドリ工業
◆(株)伊藤建設
◆轟醸造(株)
◆(株)加藤工業
◆金星工業(株)幸田工場
◆(有)レミックス
◆丸七建設興業(株)
◆(株)ニシオ
◆夏目運輸(株)
◆(有)白光舎
◆(株)山本組
◆幸田町商工会
◆幸田塗装(株)
◆(株)コーテック
◆ソニーグローバルマニユファクチャリング&オペレーションズ(株)幸田サイト
◆(株)N&K幸田セントラルボウル
◆(株)デンソー幸田製作所
◆MCC幸田(株)
◆葵カントリークラブ
◆日軽エムシリアルミ(株)
◆(株)佐藤渡辺幸田合材工場
◆(株)豊幸
◆(株)本多工務店
◆大嶽屋
◆セントラルコンベヤー(株)
◆三河観光(株)
◆山松食品店
◆小池管工(有)
◆幸田マシナリー(株)
◆吉良建設(株)幸田支店
◆パナソニック住宅設備(株)幸田工場

成年後見支援センターだより

成年後見支援センターが設立し まもなく3年

成年後見支援センターを設立して、今年の4月でまる3年が経過します。

この間、多くの人たちから成年後見に係る相談を受けてきました。あらためて、成年後見支援センターについてご案内します。

開 所 日	月～金曜日（祝祭日、年末年始除く）
開 所 時 間	午前8時30分～午後5時15分
場 所	福祉サービスセンター（幸田町社会福祉協議会内）
業務の内容	相談、手続きなどの支援、成年後見制度の広報・普及



成年後見支援センターで後見人を受任いたします 今月から受任事業を開始

法人後見とは、社会福祉法人やNPOなどの法人が成年後見人などになり、ご親族や第三者の専門職が個人で成年後見人などに就任した場合と同様に、判断能力が不十分な人の保護・支援を行うことをいいます。幸田町社会福祉協議会では、その法人後見の受任の業務を成年後見支援センターで開始いたします。

受任の条件

法人後見として受任する対象になる人は、町内に住所を有する判断能力が不十分な認知症高齢者、知的障がい者および精神障がい者などで、次の条件に当てはまる場合の人となります。

- (1) 幸田町長が法定後見の開始の審判を申し立てた場合
- (2) 財産上などの理由により、後見人などの報酬を継続的に支払うことが困難と想定される場合他

詳細は、成年後見支援センターへお問い合わせください。

成年後見制度とは

認知症、知的障がいおよび精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な人たちは、預貯金などの財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだり、遺産分割協議をしたりする必要があるが、自分でこれらのことをするのが難しい場合があります。また、自分に不利益な契約があっても、よく判断ができずに契約を結んでしまい、悪徳商法の被害にあう恐れもあります。このような判断能力が不十分な人たちを保護し、支援するのが成年後見制度です。

成年後見講演会を開催します

中日新聞に掲載された「老いの風景」でおなじみのNPO法人東農後見センター理事長の渡辺哲雄氏による講演会です。一緒に成年後見制度について学んでみませんか。

と き	令和2年2月22日(土) 午前10時～正午
と ころ	幸田町民会館 あじさいホール
内 容	成年後見制度とは「認知症になった波平」ほか
定 員	100人 *先着順
申込み	1月20日(月)から幸田町社会福祉協議会にて整理券を配布。
問合せ	詳しい内容をお知りになりたい方は、成年後見支援センターへお問い合わせください。



講師 渡辺哲雄氏

相談・問合せ先 成年後見支援センター 電話62-7171

地域包括支援センターだより

『いつまでも元気でいる』を支える 介護予防ボランティアスキルアップ研修会

と き	内 容
2月7日(金) 午前10時～正午	タオルを使って体操 からだかる～い講座 日常生活において行える、タオルを使った体操、レクリエーションなど
2月26日(水) 午前10時～11時30分	脳いきいきトレーニング 日常生活の中で脳の活性化を意識し、認知症予防に有効なトレーニングを実践

ところ 幸田町中央公民館 ホール

対 象 町内在住・在勤で、介護予防のボランティア活動をしている人、またはボランティア活動に関心のある人

定 員 30人 *先着順

講 師 岡崎市医師会 健康運動指導士・保健師

受講料 無料

申込み 地域包括支援センター（電話62-7331）へお申し込みください。

おれんじカフェを訪ねてきました!③

地域包括支援センターレポート

今年度から呼び名を《おれんじカフェ》と変え、現在町内3か所で開催中の認知症カフェ。認知症の人やそのご家族が安心して出かけることのできる場所であり、地域の人誰もが参加できます。3回目の今回は、特別養護老人ホーム メリーホーム幸田で開催されている《喫茶フェリシーテ》の紹介です。

管理者の高橋佳子さんにうかがいました

「喫茶フェリシーテへようこそ」

喫茶フェリシーテは、毎月カリキュラムを工夫し相談事はもちろん、作業療法士や管理栄養士の講座なども行っています。

ご自宅での「これはどうしたら？」など体、心、食事などあらゆる方面のアドバイスをさせていただきます。

お気軽にお越しください！

喫茶フェリシーテ（幸田町大字深溝字皿入1-1）

と き 毎月第3日曜日 午前10時～正午

参加費 無料

問合せ 特別養護老人ホーム メリーホーム幸田
電話64-6961



作業療法士による参加者向けの講座風景

高齢者や介護に関する悩みや疑問など、なんでもお気軽にお問い合わせください
幸田町地域包括支援センター 電話62-7331

ボランティアだより

ボランティア団体紹介

スマイルひねる会 こうた

地域のイベント支援と物作りや体験活動の出前講座を行っています

参加者募集

バルーンアート講座

と き 令和2年2月10日(月)

午後1時30分～3時

ところ 幸田町社会福祉協議会 ボランティアルーム

内 容 簡単！かわいい！バルーンアート

参加費 200円(材料費)

定 員 10人 *先着順

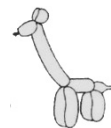
申込み 幸田町社会福祉協議会 電話62-7171

活動者募集

バルーンアートで地域のイベントを盛り上げる活動に参加しませんか
ボッチャ、車椅子バスケットの体験活動出前講座などでも活躍中



かわいいバルーンを
作ってみよう♪



問合せ 幸田町ボランティアセンター 電話62-7171

お知らせ

生活支援体制整備事業 講演会のご案内

「もったいない」を 「ありがとう」に

食品ロスと生活困窮者について

withフードドライブ

知ることから始めよう!!



食品ロス?

生活困窮者?

と き 令和2年2月16日(日) 午後1時30分～3時30分

ところ 幸田中央公民館 ホール

内 容 第1部 講演会:「もったいない」を「ありがとう」に
認定NPO法人 セカンドハーベスト名古屋

理事長 山内 大輔 氏

第2部 「幸田町の現状について」

生活困窮者の現状:幸田町福祉課

ごみ削減の現状:幸田町環境課

参加費 無料

問合せ 幸田町社会福祉協議会 電話62-7171

講演会場にてご家庭に余っている缶詰などの食品を回収し、支援団体に提供します。

・缶詰 ・乾麺 ・レトルト食品 ・調味料 など

※未開封で賞味期限まで1か月以上猶予のある
食品、常温で保存できるもの。



令和元年度 幸田町社会福祉大会開催報告

11月21日(木)、幸田町民会館で令和元年度幸田町社会福祉大会が開催されました。

社会福祉関係者が一堂に集まり、社会福祉に貢献された人々への顕彰や、長寿などのお祝いをするとともに、福祉のまちづくりに向けての大会宣言を行いました。
(順不同・敬称略)

※ 顕 彰 ※

幸田町社会貢献活動感謝状

◇社会貢献活動功労者

原 田 健 明
本 田 治三郎
近 藤 恵美子
大 川 恵 一
金星工業株式会社 幸田工場
金星工業株式会社 上六栗工場



幸田町社会福祉協議会会長表彰状

◇社会福祉協力校

幸田町立幸田小学校



幸田町社会福祉協議会会長感謝状

◇福祉団体功労者

老人クラブ連合会 岡 田 進
老人クラブ連合会 小 田 重一郎
手をつなぐ育成会 河 合 松 江
聴覚障害者福祉協会 齋 藤 幸 恵

◇社会福祉事業協力者

平 井 豊
株式会社 苔善
株式会社 タケヒロ産業
幸田セントラルボウル
幸田町グラウンド・ゴルフ協会
合同会社 筆柿の里幸田
マロー観音(賽銭)

◇社会福祉事業の進展に寄与した者

スーパーマジックリン



赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール入賞者

◇ポスターの部 愛知県共同募金会銀賞

幸田町立北部中学校 1年 平 野 晴 菜

※ 祝品贈呈 ※

長寿祝

白寿(99歳) 12名
米寿(88歳) 150名

結婚祝

ダイヤモンド婚(結婚60周年) 20組
金婚(結婚50周年) 55組

※ 体験発表 ※

ボランティア活動を通して

愛知県立幸田高等学校 2年
蜂須賀 佑 香



※ アトラクション ※

ギター弾き語り

出演 HoSoVoSo
(ほそぼそ)



赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール 入賞者紹介

第71回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールに町内の小中学校から、書道の部に1,473点、ポスターの部に1,168点の応募がありました。その中から18点の作品が優秀作品に選ばれました。(敬称略)

愛知県共同募金会

銀賞

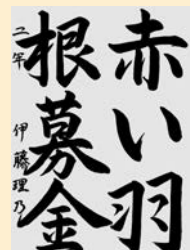


北部中1年 平野晴菜

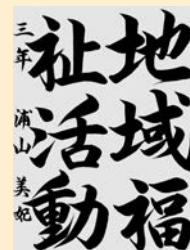
佳作



中央小6年 齋藤里央菜



南部中2年 伊藤理乃



北部中3年 浦山美妃



豊坂小5年 山本蒼結



幸田中1年 北澤あすか

幸田町共同募金委員会

会長賞

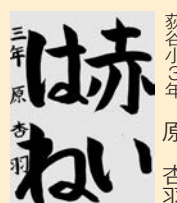


幸田中1年 宮城つたの

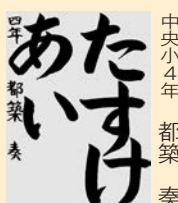


北部中3年 笠井悠月

特別賞



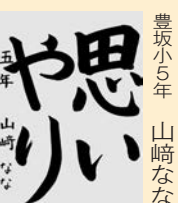
荻谷小3年 原 杏羽



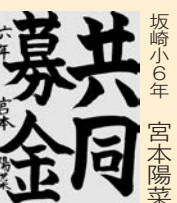
中央小4年 都築 奏



荻谷小5年 草次郁海



豊坂小5年 山崎なな



坂崎小6年 宮本陽菜



幸田小1年 堀内瑠花



深溝小1年 渡邊 天



中央小3年 福本琉月



豊坂小3年 北澤あまね



中央小6年 杉山陽亮

ご寄付ありがとうございました R1.9.9~R1.12.2

(順不同・敬称略)

- 現金 幸田町グラウンド・ゴルフ協会 120,497円 櫛石原組従業員一同 3,600円 幸田町仏教会 16,181円
平成5年度卒幸田町立北部中学校同窓会 5,300円 なのはなピククル 5,000円
あいち三河農業協同組合 50,000円 高橋厚・邦子 20,000円
- 物品 マックスバリュ幸田店 車いす1台

編集・発行

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒444-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4
電話 (0564) 62-7171 FAX (0564) 62-7254
居宅介護支援事業所 電話 (0564) 64-1069
訪問介護事業所 電話 (0564) 83-7273
地域包括支援センター 電話 (0564) 62-7331
メール info@kotashakyo.jp



ホームページ
<http://kotashakyo.jp/>



この広報誌は、皆さんからの会費と赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。